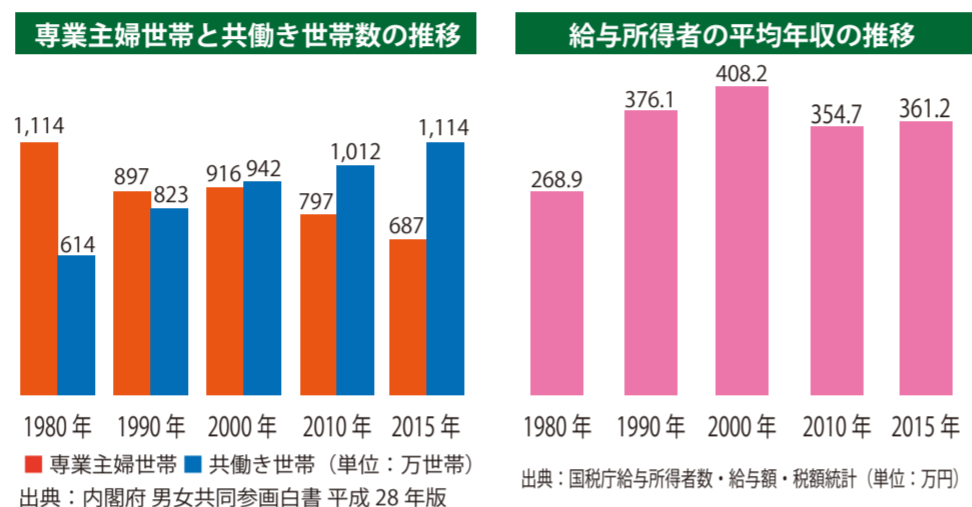




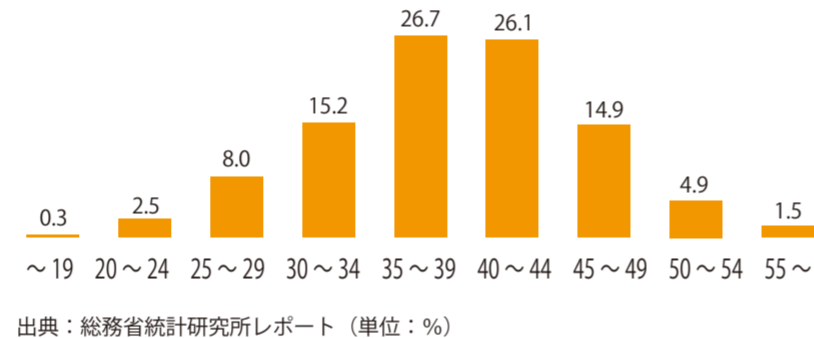
## 「若い世代は地域の活動に参加しない」というけれど

最近、自治会や町内会、学校の PTA、そして NPO やボランティア団体など、地域のおちこちの団体で「若い人がなかなかメンバーに入ってくれない」という声が聞かれます。ほとんどは加入に際して法的強制力がないとはいえ、重要な役割を持つ団体ばかり。なのにメンバーに入ることができない明確な裏付けがあるのか、統計データをひもといてみました。



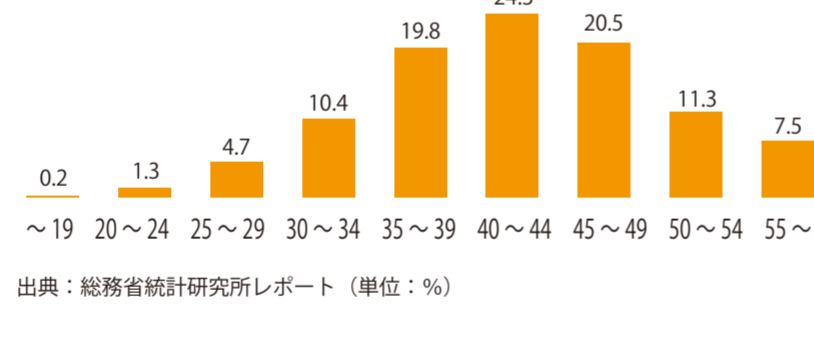
出典：内閣府 男女共同参画白書 平成 28 年版  
なお途中で算出方法が一部変わっており、他の年度と単純比較はできない  
出典：国税庁給与所得者数・給与額・税額統計 (単位：万円)

### シングルマザーの年齢分布 (2010年)



出典：総務省統計研究所レポート (単位：%)

### シングルファザーの年齢分布 (2010年)



出典：総務省統計研究所レポート (単位：%)

#### 急速に増えた共働き世帯

内閣府の「男女共同参画白書」では1980年以降の共働き世帯数の推移が公表されています。「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」、つまり妻が専業主婦という世帯は年々減少傾向にあり、一昨年末までの35年間で4割近く減少している一方、共働き世帯は8割以上も増加。35年前の専業主婦世帯の数と一昨年の共働き世帯の数がほぼ同じという水準にまで変化しています。

共働き世帯が増える要因のひとつとして、賃金がなかなか上がらないことが挙げられています。国税庁が公開

#### シングルマザー・シングルファザーの増加

総務省統計局が国勢調査の結果を元に算出した、シングルマザー・シングルファザーの数は、2010年時点と少しデータは古いのですが、全国で合計128万人。いずれも40歳前後が他の世代に比べて圧倒的に多くなっています。ちょうど小中学校に通う子どもがいる親の年齢層に近いようです。

最近でこそ学校の授業参観を土曜日や日曜日に実施する、なんていうことも増えました。が、それでも学校行事は平日が中心。祖父母等が同居しているのならばともかく、そうでないシングルマザー・シングルファザーにとっては学校との関わりも少なくなってしまうのはやむを得ないといえるでしょう。子ども

の数も減少しています。すから、保護者の人数も減少します。結果、PTA等の担い手不足になる可能性は否定できません。

#### 現役世代は地域活動に参加しづらくなっている

内閣府の世論調査によると「ボランティア活動の妨げになる要因」の第1位は「時間が足りない」(52.8%)。平成27年度市民の社会貢献に関する実態調査(より)となっています。

「活動に参加するためには休暇を取得する必要があります」という回答も2割を超え、活動に参加したくても参加できないという人も少なからずいるようです。

厚生労働省は、8年前に発表した審議会資料で、このまま少子高齢化が進むと2030年以降急速に労働人口

## みんなで作る情報板 わかやまイベントボード

- 消費者月間・金融経済講演会 「介護のミ・カ・タ〜知っておきたい心の準備、お金の準備〜」  
介護の経験などを踏まえてわかりやすくお話いただきます。  
日時 5月20日(土) 13:30～15:00  
場所 和歌山ビッグ愛大ホール  
講師 荒木由美子さん(タレント・女優)  
参加費 無料  
定員 250名(申し込み必要)  
問い合わせ・申込み 和歌山県金融広報委員会(073-426-0298・FAX 073-433-3904・和歌山県消費生活センター内)
- 子ども園ほしの親子体験会 シュタイナー幼児教育の体験をしてみませんか。  
日時 5月27日(土) 9:30～12:00  
場所 子ども園ほしの子(紀の川市西三谷670)  
内容 室内あそび、ライゲン(季節の歌と踊り)、外遊び、人形劇など  
参加費 500円(お茶・おやつ・保険代込み)  
定員 6組(申し込み必要、兄弟・姉妹の同伴可)  
持ち物 帽子、着替え、雨具  
問い合わせ・申し込み 一般社団法人 モモの会 (0736-60-8439・平日 10時～15時、メール momonokai.wakayama@gmail.com)
- 福島原発事故7年目の今 原発がこわい女たちの会結成30年のつどいとして開催。  
日時 5月28日(日) 14:00～16:30  
場所 和歌山ビッグ愛9階会議室C  
講師 武藤類子さん  
参加費 無料  
問い合わせ 原発がこわい女たちの会 (073-451-5960)
- マイナンバーカードが社会を変える! マイナンバーカードで住民生活が便利になるとみられます。その現状を探ります。  
日時 5月31日(水) 13:45～17:15  
場所 和歌山ビッグ愛大ホール  
内容 事例報告とトークセッション  
参加費 無料  
定員 100名(申し込み必要)  
問い合わせ・申込み 和歌山県情報化推進協議会 (FAX 073-428-2688、メール info@wida.jp)

このほかの情報もたくさん掲載!  
「わかやまイベントボード」  
URL http://eventboard.shiminjuku.jp/

## SDGs 国連・持続可能な開発目標を知ろう ⑨

### 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

【目標 7 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する】

目標 7 にはエネルギーが取り上げられています。

2030 年までの目標として、①安価かつ信頼できる近代的エネルギーサービスを利用できるようにする、②世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大する、③世界全体のエネルギー効率を大幅に改善するの 3 つが、2030 年までの行動目標として、④再生可能エネルギー、エネルギー効率、環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究を促進すること、⑤開発途上国等も含め、すべての人が現代的で持続可能なエネルギーサービスを提供できるよ

うインフラの拡大と技術向上を図る、の 2 つが示されています。

◆ ◆ ◆

エネルギー問題は東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故をきっかけに、再び世界的な関心事となりました。各国で原子力発電への規制強化が進んだほか、再生可能エネルギーの普及も進められています。エネルギーは生活の重要な基盤の一つですから、容易かつ安価にエネルギーを確保できる仕組みづくりが求められるのはいうまでもありませんが、化石燃料を使った発電は二酸化炭素等の排出による地球温暖化や環境汚染の懸念がありますし、原子力発電所については安全対策や使用済み核燃料の保管・再利用等、様々な課題が残されたままになっています。エネルギーをできるだけ低い負担で生み出し、活用する方法が世界中で求められているといえるでしょう。

国際エネルギー機関 (IEA) は、2021 年には、再生可能エネルギーの発電量がヨーロッパとアメリカの電力需要をすべて満たせるレベルに到達するという見通しを明らかにしています。またエネルギー効率も年々高まっており、アメリカエネ

ギー情報局は過去 25 年で世界のエネルギー効率が 30% 向上したという研究結果を昨年発表しているそうです。これだけみると、目標に掲げられている事項もあながち夢物語ではなさそうです。

◆ ◆ ◆

しかし、開発途上国を中心に 15 億人程度が電気を使えず、また電気を使える地域であっても不安定な供給状況に置かれている人が 10 億人程度いるそうです。世界の人口は現在約 73 億人といわれていますので、およそ 1/3 の人が電力事情の悪いところで生活しているということになります。

世界の人口は開発途上国を中心に増え続けていることから、環境負荷が低い再生可能エネルギーの普及や、エネルギー効率の向上等の努力が人口増に追いつけるかどうかという次の課題が見えてきそうです。

再生可能エネルギー以外の発電システムは燃料が有限のものも少なくなく、いま電気をさほど不自由なく使える立場にいるわたしたちは、省エネに努めて、エネルギーをムダにしないように心がけたいですね。